

Contents

■特集①

子育て支援・
少子化対策条例を制定

■特集②

いのちを守るために

■県政Q&A

■県政の動き

■健康レシピ「夏野菜と厚揚げの酢豚風煮」

■近くなった岐阜県へ

■県内おでかけ情報

■県広報のお知らせ

■県政クイズ

変わる 高岡銅器、 能作さんと 再び世界へ。



とやま発
めざせ
日本一!



温故維新

「ユーザーに最も近い販売員の声を集めること、デザインと素材を活かすことが、私のテーマです」と語る株式会社能作の代表取締役社長・能作克治さん

今年、開町400年を迎えた高岡市。長い歴史とそこに住む人々の営みの中で、高い技術力をもつ伝統産業が脈々と受け継がれてきました。中でも、高岡銅器は目覚ましい発展を遂げ、明治時代には万国博覧会を通してその名を世界に広めました。しかし、近年は需要の伸び悩み、従事者数の減少、後継者の不足などの課題に直面しています。

プロダクツ選定商品」にも認定され、現在は約30種類のデザインをそろえています。

能作さんは福井県出身。「高岡に来た時、同業の方々がいろいろ教えてくださったおかげで今があります」。その恩に報いるためにも、高岡銅器をさらに発展させたいという強い信念が、能作さんの原動力となっています。商品の開発に当たっては、県総合デザインセンターに技術面やデザイン面を相談。「デザイナーの紹介から技術の共同開発まで、たくさんノウハウと知恵を拝借させていただきました」と能作さん。こうして生まれた技術の代表例が、錫を柔らかくまろく形成する「シリコンゴム鑄造」。この新技術によって、形も用途も自在に変えることができる製品が開発されました。



シリコンゴム鑄造による製品「メッシュトレイ KAGO-スクエア」

Q. 富山県はものづくりが盛んですが、これらを支える人材をしっかりと育て、大切な技能を守り伝えていくために、どのように取り組んでいますか。

A. 本県は、製造業などの第2次産業に就業される方の割合が全国第1位の34.8%（平成17年国勢調査結果）となるなど、全国有数の「ものづくり県」です。こうした「ものづくり産業」を発展させていくには、ものづくりの人材育成が必要であり、そのための技能の向上を図っていく必要があります。

このため、県では、①団塊の世代の技術者が蓄積してきた技能の円滑な継承、②金型製作や機械加工等の各種技能検定の充実、③現場力（*）の強化を図るための企業ニーズに応じた在職者のスキルアップなどを積極的に進めています。

例えば、

- 熟練技能者が技能を若手技能者に実技指導する「とやま技能継承塾」
- 生徒の企業実習や専門技術者による実践的な授業などを行う「高校生ものづくり人材育成事業」
- 企業の人材育成ニーズに応じ、企業が自ら手づくりで行うオーダーメイド型の在職者訓練などに取り組んでいます。

本県の基幹産業である「ものづくり産業」が成長・発展していくために、今後とも、人材育成に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

（*）現場力：現場における実践的な経験に基づいた技術・技能・問題解決能力や管理能力等をいう



県政に関する
ご質問に
知事が
答えます!!

県政Q&A



皆様のご意見をお待ちしています。「元気とやま目安箱（知事への意見・提言）」係まで

◎はがき・手紙 〒930-8501 県庁広報課 ◎FAX 076-444-3478 ◎インターネット <http://www.pref.toyama.jp/tiji-form.html>

この件のお問い合わせは 県職業能力開発課
TEL.076-444-3259

特集

1

子どもの笑顔と元気な声があふれ、
活気のある地域社会の実現を目指して

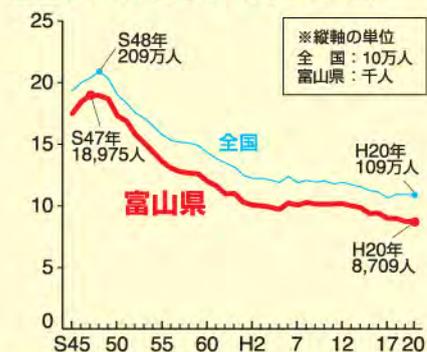
子育て支援・ 少子化対策条例 を制定しました。

地域の宝であり、未来の希望である子どもたちが
健やかに成長することは、私たち県民の願いです。
県民、事業者、行政等がそれぞれの役割を担いながら、
子育て支援・少子化対策に県民総参加で取り組むため、
このたび「富山県子育て支援・少子化対策条例」を制定しました。

県民の意見を踏まえ、 条例を制定

近年、核家族化、少子化の
進行等により、家庭や地域で
子どもを育てる力が低下して
いると言われています。子ども
が心身ともに健やかに成長

出生数の推移 (全国・富山県)



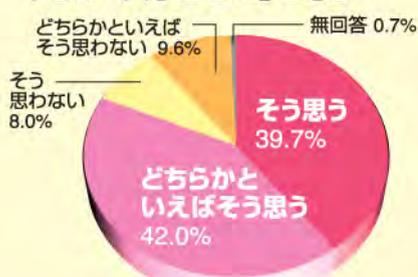
資料：人口動態統計(厚生労働省)

する環境が失われつつある今、
地域社会を維持し、発展させ
るためにも、誰もが安心して子
どもを生み、育てることができ、
子どもを持つ喜びを実感でき
る環境づくりが必要です。
このため、県では、昨年11月
から県内9箇所ですべて「子育て
ミーティング」を開催したほか、
中小企業との対話やパブリック
コメントなどを実施しました。
これらを通じていただいた多
くの県民の皆さんのご意見を
踏まえ、6月に「富山県子育て
支援・少子化対策条例」を
制定しました。



少子化・子育て支援アンケート (H19.8)

少子化対策を充実すれば
「もう一人子どもを」と思う



(保育所・幼稚園を利用する保護者809名対象)

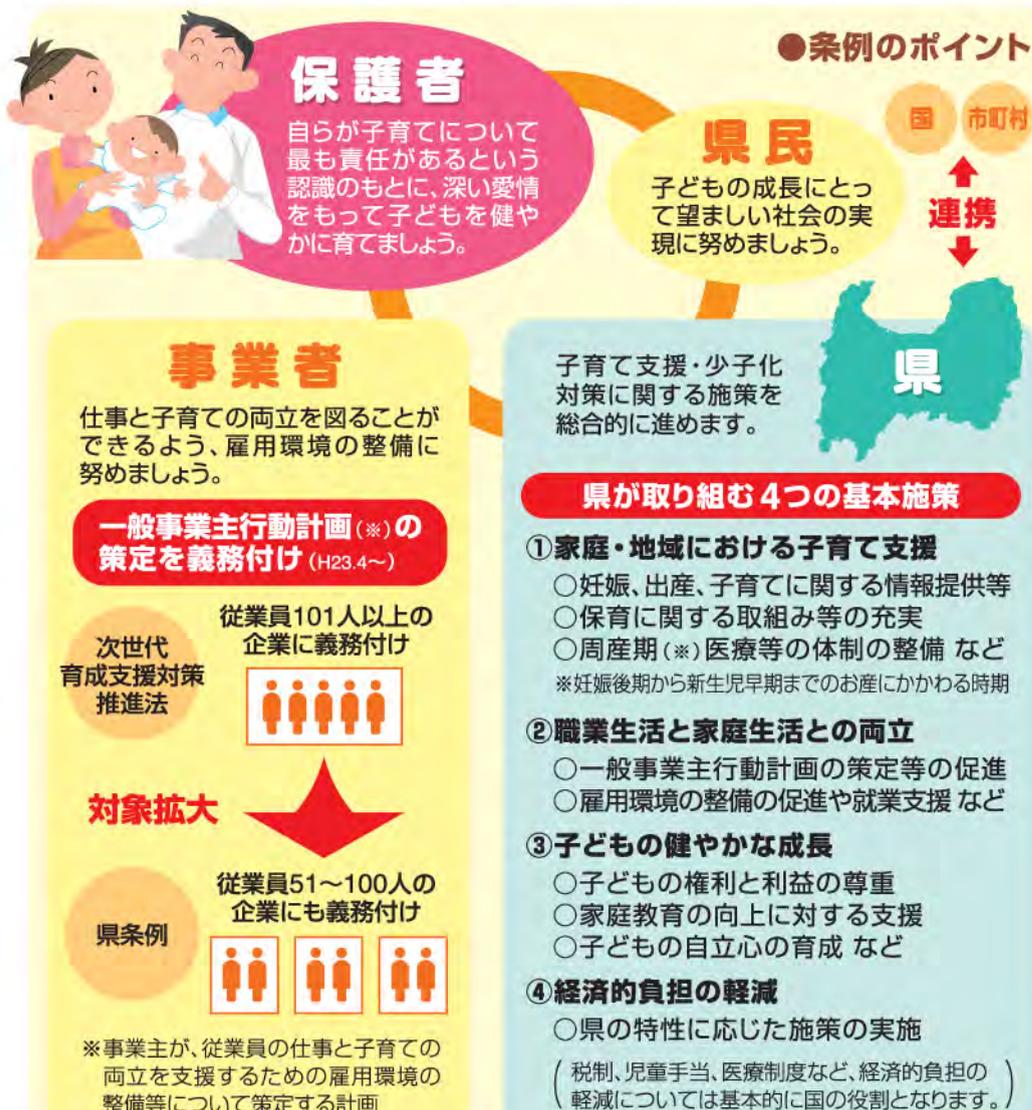


「子育てミーティング」では多様な意見が出されました。

県民総参加で 子育て支援・少子化対策を

条例の特徴としては、
●子育てについて最も責任のある
保護者の責務を規定し、保護者を
孤立させることなく、地域全体で
子育てを支援するため、県、県民、
事業者の役割を定めました。
●県が取り組む施策を4つの基本
施策として整理しました。
●職場で仕事と子育ての両立が図
られるように、一般事業主行動
計画の策定を、法律で定める
対象企業より小規模な企業(従
業員51人〜100人)にも義務
付けました。

●条例のポイント



【条例制定記念】 子育て支援・少子化 対策県民フォーラム

入場無料

社会全体で取り組む子育て支援・少子化対策について、一緒に考えてみませんか。
9月6日(日)13時半~16時半
富山国際会議場 3階メインホール

- 子育てトーク
講師/香坂みゆき氏(女優・タレント)
- 子育てに関するパネルディスカッション、パネル展示 ほか

県では、この条例の制定を記念し、9月に県民フォーラムを開催します。また、今後、条例に基づく基本計画を策定し、市町村との連携・協力のもと、県民の皆さんと一緒に子育て支援・少子化対策を総合的・計画的に進めていきます。

このページのお問い合わせは

県知事政策局 TEL.076-444-4069
http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1002/

特集 2

いのちを守るために

一人ひとりが自殺予防の主役です

近年、全国では毎年約3万人が、富山県でも約300人の方々が自殺で亡くなっています。県では、こうした状況を踏まえ、6月に「県自殺対策アクションプラン」を策定しました。今後、自殺者を一人でも少なくするためには、県民の皆さん一人ひとりが自殺のサインに気づき、適切に対処することが求められています。

①サインに“気づく”

自殺を考えている人は、悩みを抱え込みながらもサインを発していると言われています。家族、友人、同僚などの身近な人は、このサインに早く気づき、相手の気持ちに寄り添って、じっくりと話を聴きながら、受け止めてあげることが大切です。

【自殺のサイン】

次のようなサインが数多く認められる場合は、自殺の危険性が高いと言われています。

- ①うつ病の症状(気分が沈む、不眠が続く、仕事の能率が落ちるなど)
- ②原因不明の身体の不調が長引く
- ③酒量が増す
- ④安全や健康が保てない
- ⑤仕事の負担が急に増える、大きな失敗をする、職を失う
- ⑥職場や家庭でサポートが得られない
- ⑦本人にとって価値あるもの(職、地位、家族、財産)を失う
- ⑧重症の身体の病気にかかる
- ⑨自殺を口にする
- ⑩自殺未遂におよぶ

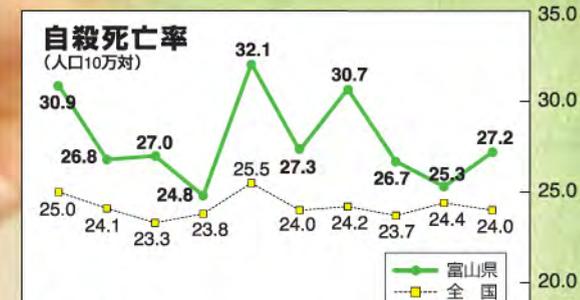
②専門機関に“つなぐ”

相手に自殺の危険性が高いと感じたときや、うつ病などが疑われる場合は、専門の相談機関や医療機関等に相談してください。

うつ安心とやま

<http://www.utuan.jp>

うつ病の知識や県内の相談機関・心の健康に関するイベントの情報などを提供しています。



資料：人口動態統計(厚生労働省)

③あたたかく“見守る”

身体や心の健康状態について、自然な雰囲気の中で声をかけて、あせらずに寄り添いながら見守りましょう。家庭や職場等での負担が減るように配慮することも大切です。

「県自殺対策アクションプラン」を策定しました。

県では、今後、自殺対策アクションプランに基づき、各種の施策を実行していくことにより、自殺者を一人でも少なくすることを目指します。

【県自殺対策アクションプランの取組みの柱】

- ①県民一丸となった自殺予防対策への取組み
- ②利用しやすい相談体制と的確な支援体制の整備・充実
- ③うつ病等の早期発見、対応

心の健康についての不安や悩みのご相談は

県心の健康センター TEL076-428-1511
<http://www.pref.toyama.jp/branches/1281/1281.htm>

このページのお問い合わせは

県健康課 TEL076-444-3223
http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1205/

とやま発! 健康レシピ

夏野菜と厚揚げの酢豚風煮



1人分 約349 kcal

“1日1人350gの野菜を食べよう”をテーマに作った料理です。生のままではなく、火を通すことにより野菜をたっぷり食べられるのが魅力。素材本来のおいしさを引き出す味付けと甘酢あんが食欲を増進させ、サッパリといただけます。

[協力] 上市町食生活改善推進協議会

【材料・分量(4人分)】

じゃが芋(300g)、人参(小1本)、南瓜(小1/2個)、きゅうり(2本)、ピーマン(4個)、干椎茸(8枚)、厚揚げ(1枚)、赤唐辛子(1本)、油(大さじ1)、塩(少々)
[a]砂糖(大さじ2)、醤油(大さじ2)、酒(大さじ1/2)、みりん(少々)
[b]薄口醤油(大さじ1)、砂糖(少々)
[甘酢あん(4カップ分)]
酒(1/3カップ)、醤油(1/3カップ)、砂糖(大さじ4)、酢(大さじ3)、片栗粉(小さじ3)、生姜(1かけ)

【作り方】

- ①じゃが芋と南瓜は食べやすい大きさに切り、塩付けする。
- ②きゅうりと人参は乱切り、ピーマンはヘタを取り4つ切りにし、熱湯をかける。きゅうりとピーマンは冷水にさらし、ザルにあげておく。
- ③干椎茸はぬるま湯でもどして4つ切りにし、[a]で和えて味付けする。
- ④厚揚げは熱湯に通して油抜きをし、1枚を8つの角切りにしてから、[b]で和えて味付けする。
- ⑤赤唐辛子は種を抜き、小口切りにする。
- ⑥中華鍋に油を熱し、赤唐辛子、じゃが芋、南瓜、人参、きゅうり、干椎茸の順に入れて中火で炒め、油がなじんだら厚揚げ、ピーマンを入れ、[甘酢あん]を加えて強火で混ぜながら味を染み込ませる。

- 野菜の味を生かすために、別々に味付け。
- 煮すぎず、炒めすぎないように。
- アスパラやナス、インゲン、冬瓜でも応用できます。

- ### 今後の予定
- 9月4日 環水公園夏まつり
 - 16日 とやま地産地消シンポジウム2009(富山国際会議場)
 - 8月15日 シアター・オリンピックス利賀2009 / SCOTTサマーシーズン2009(30日)(利賀芸術公園)
 - 28日 北海道・富山県知事懇談会
 - 23日 ウラジオストック便就航15周年記念式典
 - 19日 富山県・岐阜県知事懇談会
 - 16日 富山県・岐阜県知事懇談会
 - 15日 富山県・岐阜県知事懇談会
 - 5日 富山県・岐阜県知事懇談会
 - 7月1日 東海北陸自動車道全線開通1周年記念イベント
 - 30日 富山県・岐阜県知事懇談会
 - 21日 県スポーツフェスタ総会開会式
 - 12日 県議会定例会(26日)
 - 11日 県議会定例会(26日)
 - 10日 第1回イタイタイ病関係資料継承検討会
 - 8日 第1回とやま地産地消県民会議(*)
 - 5日 第1回歴史と文化が薫るまちづくり事業「検討委員会」
 - 1日 舟川ダム定礎式

最近の動き

県政の動き



(*)地産地消の推進施策等を示す戦略の策定などを行う会議の初会合が開催されました。

近くなった岐阜県へ おでかけ情報 特別版

昨年7月5日の東海北陸自動車道的全線開通から1年。同日を「富山・岐阜交流の日」と定めた両県では、さまざまな分野での交流を深めています。皆さんも、近くなった岐阜県へ出かけてみませんか。

東海北陸自動車道全線開通1周年記念事業 「富山県・岐阜県 道の駅スタンプラリー」

実施中～平成22年1月24日(日)
富山県の道の駅(13駅)と岐阜県の道の駅(50駅)をめぐるスタンプラリーです。おすすめのモデルコースも紹介しています。詳しくは、次のホームページをご覧ください。
<http://www.sutarari.net>

抽選で
200名に
県産品が
当たる!

郡上おどり

約400年にわたり踊り継がれる伝統的な盆踊り。お盆期間(8/13～16)は徹夜踊りが行われます。



長良川の鵜飼

約1300年前から伝わる古代漁法。かがり火を灯した舟に乗った鵜匠が鵜を操りながら行う鮎漁の光景は幻想的です。



小坂の滝めぐり

さまざまな滝を探勝できる自然スポット。下呂市小坂町は5m以上の滝が20カ所以上もある日本一滝の多い町で、滝めぐりが楽しめます。(コースによってはガイドが必要)



記念イベントが開催されました

「東海北陸自動車道全線開通1周年記念イベント」



両県の魅力をPRしました。

7月5日、両県の知事が参加し、岐阜県の関サービスエリアで両県の特産品のプレゼント抽選会等が行われました。

「富山・岐阜交流の日記念バスツアー」



小坂の滝を訪れる参加者

富山県からは、高山陣屋や小坂の滝を訪れるツアーと郡上八幡を散策し、郡上おどりを体験するツアーを実施。合わせて、77名の方が参加しました。

県内おでかけ情報

県立近代美術館

「第9回 世界ポスター トリエンナーレトヤマ2009」

開催中～9月27日(日)
料金●一般900円(700円)、
大学生650円(500円)、
小中高生無料

3年に一度開催される、
日本で唯一の国際公募
によるポスター展です。



開催告知ポスター

富山市西中野町1-16-12 TEL 076-421-7111
開館●9:30～17:00(入館は16:30まで) / 休館●月曜(祝日は開館)、祝日の翌日 / 交通●富山駅(CIC横)から富山ミュージアムバス(城南ルート)で約10分(無料) 富山駅から地鉄バスで「西中野口」下車、徒歩2分 ※料金の()内は20名以上の団体料金
<http://www.pref.toyama.jp/branches/3042/3042.htm>

県立山博物館

特別企画展 「夏風に舞う—高山蝶と 森の蝶ゼフィルス—」

開催中～8月30日(日)
料金●一般200円、大学生160円、小中高生無料
(展示館、展望館、まんだら遊苑は別途)

富山県を代表する高山蝶と森に棲むシジミ蝶の仲間ゼフィルス。これらの蝶の一生と生活環境を紹介します。

「まんだらナイトウォーク～炎がさなう天への道～」

8月14日(金)、15日(土) 17:00～20:00
料金●一般400円(320円)、大学生320円(200円)、小中高生無料
ろうそくの灯りによる幻想的な空間が楽しめます。
立山町芦崎寺93-1 TEL 076-481-1216
開館●9:30～17:00(入館は16:30まで) / 休館●月曜(祝日は開館)、祝日の翌日 / 交通●北陸自動車道立山ICから車で約30分 ※料金の()内は20名以上の団体料金
<http://www.pref.toyama.jp/branches/3043/3043.htm>



クモツマキチョウ

県中央植物園

「観葉植物展Ⅰ」 ～野菜と果物でつくる インテリアプランツ～

開催中～9月9日(水)
野菜や果物などのさまざまな食材から育てた観葉植物を紹介します。

「日曜植物案内」

(毎月第1・2日曜) 13:30～14:30(当日受付)
見頃の植物や話題の植物について解説します。

「植物園オリエンテーリング」

(毎月第3日曜) 10:00～11:00(当日受付)
植物クイズを解きながら、園内を楽しめぐります。

富山市婦中町上善田42 TEL 076-466-4187
開園●9:00～17:00(入園は16:30まで) / 休園●木曜 / 入園料●一般・大学生600円(480円)、小中高生無料 ※ ()内は20名以上の団体料金 / 交通●富山駅から地鉄バスで「中央植物園口」下車、徒歩10分 <http://www.bgtym.org/>



サツマイモ、ゴーヤなどから育てた観葉植物

富山国際会議場(メイン会場)ほか、県内5会場

「ジャパン・ワイルドライフ・ フィルム・フェスティバル 2009」 ～第9回世界自然・野生生物映像祭～

8月20日(木)～23日(日)
料金●(メイン会場)1日券1,000円、4日通し券2,000円(高校生以下、メイン会場以外は無料)

世界40カ国から集まった347本の自然や野生生物の映像の中から優秀作品にノミネートされた40本が上映されます。



オーストラリア・オウムの大陸～
©Australian Broadcasting Corporation

お問い合わせ●NPO法人 地球映像ネットワーク 富山事務局 TEL 0763-37-0003 <http://www.naturechannel.jp>

県政クイズ

○の中に言葉を入れてください。(ヒントは2ページにあります。)

このたび県では、
「〇〇〇支援・少子化対策条例」を制定しました。

正解者の中から10名の方に、「越中利賀村清流茶室(2巻入)」をプレゼントします。

はがきにクイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と本紙の感想を記載し、下記まで。当選の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

宛先 ■〒930-8501(住所記入不要) 県庁広報課「県広報とやま8月号クイズ係」 締切 ■8月14日(金) (必着)

お知らせ

抽選で「PET検査割引券」をプレゼント!

日本人の死亡原因で最も多いのが「がん」です。がん検診による早期発見・早期治療が大切です。

「とやまPET画像診断センター」の検査割引券(検診料金89,500円を79,500円に割引)を抽選で30名の方にプレゼントします。

申込

はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入のうえ、〒930-8501(住所記入不要) 県庁医療課「PET割引券プレゼント係」まで

締切

9月15日(火) 必着

必読 必見

県広報のお知らせ



富山県ホームページ <http://www.pref.toyama.jp/>

〇 こんにちは富山県です 北日本放送テレビ

●毎週土曜 9:30～9:45
8/8 ●世界ポスタートリエンナーレトヤマ
8/15 ●世界自然・野生生物映像祭がやってくる
8/22 ●ようこそ富山へ
8/29 ●くらしたい国、富山

〇 元気とやま情報チャンネル 富山テレビ

●毎週日曜 9:00～9:25
8/2 ●船が就航!富山港河原水公園に出かけよう!
(8/9-16 休み)
8/23 ●神奈川東流産婦人科開院150周年～
8/30 ●防災は日ごろの備えから

〇 とやまメモリアルナイト チューリップテレビ

●毎週火曜 21:55～21:58
県が取り組んでいる事業やイベントの内容などをわかりやすくタイムリーにお知らせします。

〇 元気とやま情報スクエア FMとやま

●毎週月～金曜(最終金曜除く)
10:50～10:55、⑩17:30～17:35
●毎月最終金曜
10:50～11:00、⑩17:30～17:40
※最終金曜は「知事の県政ざっくばらん」として、知事が最新の話題について語ります。

〇 県からのお知らせ コミュニティFM各局

○富山シティエフエム ○ラジオたかおが
○ラジオ・ミュー ○エフエムとなみ
●毎週月曜朝、毎週金曜夕方
各2分半

〇 新聞広報「県からのお知らせ」

●8月8日、15日、22日、29日の各土曜の朝刊各紙に掲載予定
※8日、22日は、一部の朝刊には掲載しません。

その他、月刊タウン情報とやま、フリーペーパー「f02」、「fmino」、「ふみたん」に、県広報をそれぞれ年6回掲載

モバイル県庁

携帯電話からも県の情報を閲覧できます。(右のQRコードから)



「県広報とやま」は、4・6・8・10・1月(年5回)発行で新聞折込により各家庭にお届けします。また、県の各施設や市町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しているほか、本号とバックナンバーは、県庁広報課のホームページで閲覧できます。平成21年8月2日発行 企画・発行/富山県知事政策局広報課 富山市新総曲輪1番7号 076-431-3131(県民相談電話)/076-444-3300(県民相談ファックス) 編集協力/株式会社シー・イー・ビー

「県広報とやま」に関する
ご連絡、ご質問は

〒930-8501(住所記入不要) 県庁広報課 まで TEL・076-444-3134 FAX・076-444-3478
E-mailは次のアドレスのフォームよりお送りください ▶ <http://www.pref.toyama.jp/form.html>
広報課ホームページ http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1001/

広告掲載の
お問い合わせ

株式会社シー・イー・ビー
企画営業部 まで
TEL・076-439-3311(代)